



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

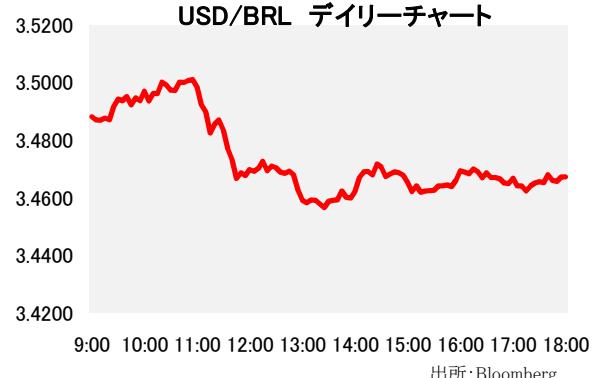
1. マーケット・レート

			8月12日	8月13日	8月14日	8月17日	8月18日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.4800	3.5190	3.4820	3.4800	3.4670	-0.0130
	BRL/JPY	Spot	35.69	35.36	35.70	35.74	35.88	+0.14
	EUR/USD	Spot	1.1162	1.1151	1.1110	1.1079	1.1027	-0.0052
	USD/JPY	Spot	124.25	124.43	124.30	124.41	124.40	-0.01
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.250	14.267	14.276	14.264	14.236	-0.028
	Future	1Year(p.a.)	14.270	14.201	14.170	14.155	14.153	-0.002
On-shore	6MTH(p.a.)	1.915	1.855	1.898	2.078	1.999	-0.079	
	USD	1Year(p.a.)	2.598	2.557	2.626	2.818	2.789	-0.029
株式	Bovespa指数		48,388	48,010	47,508	47,217	47,451	233
CDS	CDS Brazil 5y		304.96	307.34	304.94	307.00	312.83	+5.82
商品	CRB指数		198.897	197.830	197.969	196.529	196.771	+0.24

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

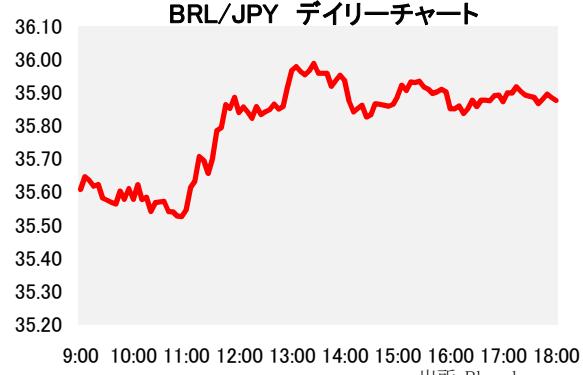
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.78%	0.83%	0.84%
IGP-M Inflation 2nd Preview	0.22%	0.17%	0.71%
税収	104000M	104868M	97091M
(米)住宅着工件数	1180K	1206K	1204K
(米)建設許可件数	1225K	1119K	1337K



3. 要人コメント

モンテーロ 開発・商工貿易相	レアルは対ドルで3より上かその近辺で安定するだろう。この水準は輸出に取って好ましい水準である。
-------------------	---



4. トピックス

- 本日のレアルは3.4860で寄り付いた。アジア時間に中国株が再び急落したことを受け、オープンからリスクオフムードでレアルは売られた。発表された米7月住宅着工件数が市場予想を上回り、約8年ぶりの高水準となったことを受けてドル全面高の展開になると、レアルは本日の安値となる3.5030まで売られた。しかし、大口のレアル買いが出た模様で、特段ニュースない中でレアルは反発した。中銀公表レート発表にかけてレアルはジリ高いの展開となり、高値となる3.4560まで上昇した。その後、短期筋の利食いもあり、小反落すると、結局3.4670でクローズした。
- アジア時間には中国株が急落。上海総合指数は前日比6.2%の大幅安で引けた。これは一日の下げ幅としては8/27以来の水準。国家統計局が発表した新築住宅価格で、住宅価格に回復の兆しが見られたため、中国当局による追加の景気刺激策への期待感が後退したことが背景。
- 中国発の世界的に株式全面安の展開となる中、ボベズバ指数は朝方は軟調推移したが、配当に対する課税が撤廃される可能性があるとの報道を受けて、午後にかけて急速に値を戻し、6営業振りに反発した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。